

▶ カワソーテクセル株式会社

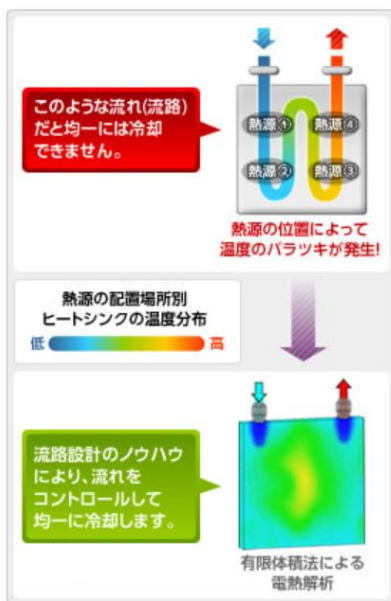
センターの活用で、投資を抑えて、タイムリーに新しいチャレンジを！



明治10年、カワソーテクセルは「せともの」の町、愛知県瀬戸市で食器製造業として創業しました。以来、ものづくりを通して時代のニーズに即した製品やサービスの提供に努め、電力資機材をはじめ、接合技術をベースに水冷ヒートシンクやセラミックス製真空絶縁部品などに事業展開しております。中でも水冷ヒートシンクは、広島工場に「ヒートシンク・ラボ」を設立し、特に力を入れています。



水冷ヒートシンク



CAEを用いた設計開発

従来は、実機による性能評価を行っていましたが、流体解析経験者がスタッフとして加わったことを契機にCAE活用の検討を始めました。しかし、CAE活用は、社内でも期待されていましたが、高価な解析ソフトの導入が課題となりました。その時、導入を検討しているソフトをセンターが所有していることを聞き、センターの活用を決めました。

使用経験のある解析ソフトを使うだけでなく、別の最新ソフトもトライできました。その際、センターの流体解析の専門家によるサポートがあり助かりました。その結果ヒートシンクの開発業務に活用することができました。



「ヒートシンク・ラボ」での開発風景

現在では、センター主催の「CAE塾 流体解析編」にも参加し、実践的な学びを進めています。今後もセンターのワークステーションや解析ソフトなどの計算資源や実践的な研修や技術サポートを最大限有効活用し、ヒートシンクの効率化や高度化にチャレンジしていきます。

利用者の声



CAE解析を組み込んだ新しい設計プロセスにチャレンジできました。センターのワークステーションや解析ソフトの活用で初期投資を抑えて進めることができました。これからも設計者のノウハウをCAEで見える化して、技術蓄積や設計者の人材育成、顧客とのコミュニケーションツールとして、どんどん活用していきたいです。



活用したひろしまデジタルイノベーションセンターのサービス

解析システム利用サービス
人材育成サービス

- CAEを行うための環境を従量制で安価にご提供
- センターのエンジニアやベンダーによる手厚いサポート
- 基礎から実践までの幅広い人材育成カリキュラムの提供